

夜須高原ファミリーキャンプ②

～子どもの日だよ、全員集合！～

【実施報告】

- 1 趣 旨 手軽に自然体験を楽しみたい家族を対象として、冬の夜須高原の自然に触れ、活動プログラムや家族間の交流を通して、自然体験の普及啓発を図ることを目的として実施する。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 期 間 令和6年5月5日（日）～6日（月） 1泊2日
- 4 場 所 国立夜須高原青少年自然の家
- 5 参加者 70名（20家族）
- 6 活動の様子 別紙参照
- 7 感 想
 - ①プログラムに関すること
 - ・ビンゴの謎解きそっちのけで、野山を走りまわり楽しんでいました。親は謎解きで景色を見て楽しみました。広い施設の中に、こんなところもあるのかと発見がたくさんありました。
 - ・自然を楽しみながら、たくさん歩けました。
 - ・写真と同じ物を探すのは、少し難しかったので面白かったです。
 - ・うどんおいしかったです。足でのばして待ち時間も楽しかったです。
 - ②事業全体に関すること
 - ・他ファミリーとの交流、自然を満喫、カプラ、ゲームコーナーもよかったです。
 - ・数年にわたり、お世話になっていますが毎回ちがった楽しい体験で感謝です。
 - ・交流のために工夫してくださってよかったです。
 - ・いつもすてきな体験をありがとうございます。四季おりおりの楽しみです。
 - ・雨だったけど、楽しめてよかったです。余暇の時間のカプラやカードゲームも楽しめました。
 - ・普段、子どもたちに体験させることができないフィールドビンゴや手打ちうどん作りなど、とても楽しかったです。

8 成 果

本事業は、大型連休の最終日であり、子どもの日にあたるので、子どもを中心に家族が集まって、家族内交流、家族同士の交流が図れるように事業の計画を行った。

少し軽めのフィールド活動や、ナイトハイキングを取り入れ、自由時間を多く取れるように設定した。自由時間に遊べるように、カプラコーナー、アナログゲームコーナーを設置し、そこに集まった家族同士が交流しやすい場を設定した。次第に子ども同士が仲良くなり、親同士のコミュニケーションが始まり、といった交流が見られるようになった。

メインの活動の手打ちうどんは、家庭ではなかなか行えない活動であり、初体験の家族も多かったこともあり、家族内のコミュニケーションが図れ、どの家族も楽しみながらうどんを打ち、食べることができた。

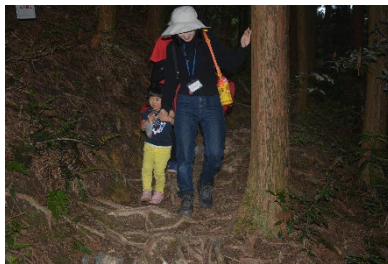
参加者アンケートより「手打ちうどんは初めてですごく楽しかった」や「普段子どもたちに体験させることができないフィールドビンゴや手打ちうどんなど、とても楽しかったです」といった意見をいただいた。本事業が参加者にとって、普段体験することの少ないプログラムを経験するきっかけとなったといえるのではないだろうか。

9 課 題

アンケート結果を見るに、夜須高原のファミリーキャンプにおいて、食べ物関係のプログラムにはニーズがあるということが分かる。一方で、他の自然体験をメインとしたプログラムにも魅力を感じてもらえる企画作りも必要と考えられる。

手打ちうどんのプログラムは、当施設ではしばらく行っていなかった活動であり、経験していない職員も多く、また、雨天であったことから、準備や後片付けにもたつきが生じたことから、次回行うにあたっては、スムーズに活動を行えるように整理・準備していく必要がある。

6-1. フィールドビンゴ・ひるもりビンゴ



6-2. 自由時間のカプラコーナー・アナログゲームコーナー



6-3. 手打ちうどん

